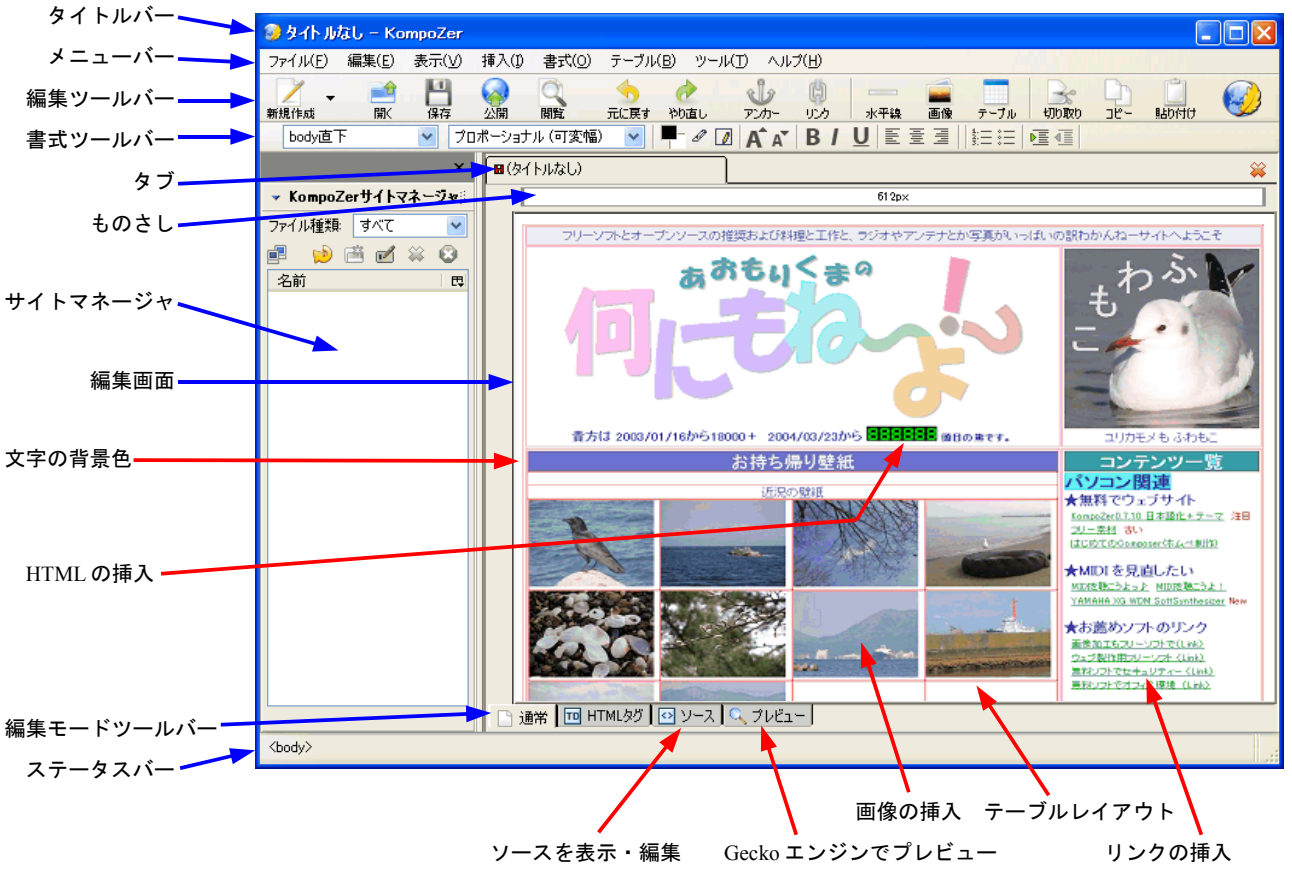
はじめての KompoZer for あおもりくま Version1.0 β
すぐにウェブサイトを作りたい人のための簡易マニュアル

はじめてのKompoZer

オープンソース・ウェブオーサリング・ソフトウェア　コンポーザー



KompoZer の特徴

- オープンソースソフトウェア（OSS）なので無料。コピー配布も合法。ユーザー登録なし。
- ワープロ感覚でウェブページが作れる。タグが分からなくても、ソースを書けなくても大丈夫。
- ウェブ標準なページ（ソース）を生成し、ほぼ全てののブラウザで同じような表示になる。
- HTML・CSS または XHTML でのソースを生成できる。
- 上級者用に CSS エディタと JavaScript コンソールも用意されている。
- 各種オブジェクトには基本的なプロパティと詳細なエディタが用意されている。
- WYSIWYG モード・タグモード・ソースモード・プレビューの切替えが即時にできる。
- 非常にシンプルな画面とツール群。必要なものが必要なところにある。
- タブを使って複数のページを同時に開いて編集できるタブ型のオーサリングソフト。
- Web サーバーに直接アクセスして読込・編集・更新できるサイトマネージャと FTP 機能。

©1998-2006　KompoZer　Nvu's unofficial bug-fix release
©2003-2009　aomorikuma's General laboratory - Manual Project -

KompoZer を使う準備

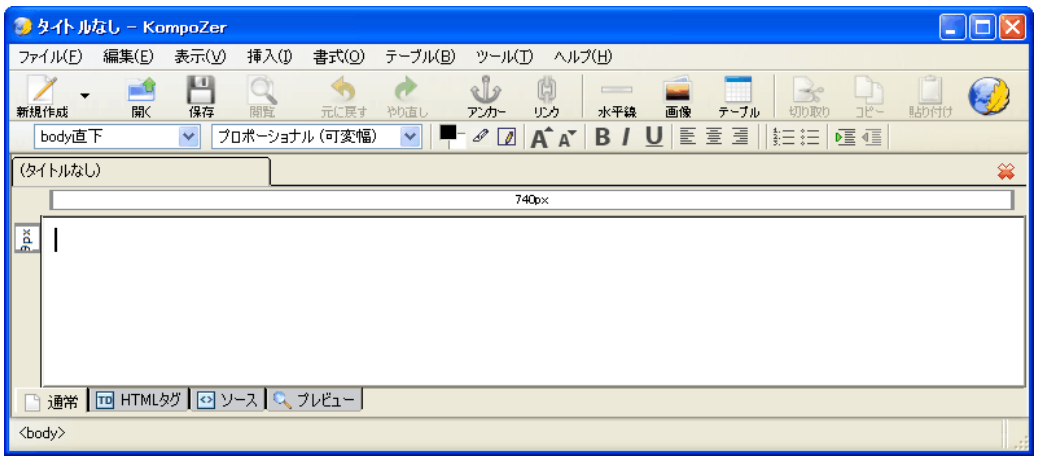
KompoZer は英語のソフトですが、JLP（日本語パック）が用意されています。
まず、KompoZer をダウンロード、インストール、日本語化しておきましょう。

①ダウンロード先（公式サイト） ②公式サイト JLP ダウンロードページ
③日本語化の方法を説明をしているページ

kompozer-0.7.10-win32

kpz-langpack-jaJP.xpi

このマニュアルでは以下のツール配置を推奨します。ちょっとしたウェブサイトを作るのであれば、このボタン数で作れます。使わないツール類は消してシンプルに配置しましょう。ツールバーのカスタマイズ方法は、上記の③のリンクの後半で説明しています。



このマニュアルでは、Windows を使っての説明となっています。 KompoZer はオープンソースですから、Windows2000/XP/Vista と、Mac OSX、Linux でリリースされています。
インストール方法は各種 OS のやり方となりますが、日本語化とソフトウェアの操作そのものは全く同じです。操作説明についてはこの「はじめての KompoZer」だけで分ると思います。

KompoZer はウェブページを作るソフトですが、他には写真を加工するソフトが必要です。また、ウェブサーバーにページをアップロード（転送）する機能がイマイチ貧弱ですので、基本機能が充実している FTP ソフトなども事前に用意した方が便利です。 市販のソフトには必要なソフトウェアがすべてパッケージされていますが、KompoZer はページの作成と簡単な FTP 機能しかありません。当サイトでは、KompoZer と一緒に使う各種ソフトウェアは以下のものを推奨します。

あおもりくまのお奨めする KompoZer を中心としたオーサリング環境

- オーサリングソフト本体： KompoZer 0.7.10 最新版＋JLP
- フォトレタッチソフト（写真）： JTrim（フリーソフト）
- スクリーンキャプチャーソフト： WinShot（フリーソフト）
- Web アルバム作成ソフト： JAlbum（フリーソフト）
- ペイントソフト（お絵かき）： Paint（Windows 標準） ／ PictBear ／ AzPainter

ページに使用する素材やアップロードするサーバー（ISP）については、以下の検索結果から各自で気になったサイトに訪問し、使用条件・規約を確認のうえで各自で利用するか、自前で制作するなり用意してください。

ホームページ・無料テンプレート ホームページアイコン・バナー ホームページ小技集
ホームページ素材集 ホームページサーバー レンタル掲示板 ブログサービス 無料 CGI 無料 SNS

スポンサーサイト ［aomorikuma ウェブスペース・ブログサービスの提供企業］

楽天 infoseek isweb サーバー 楽天ブログ 楽天市場 アフィリエイト
FC2 ウェブサイトの運営と付随する非常に多くのサービスが、ひとつの ID で利用できます
Google Blogger（ブログサービス）

はじめての KompoZer Presented by あおもりくま

１．はじめに

１－１．KompoZer とは
１－２．ウェブサイトとウェブページとブラウザ
１－３．ウェブページの URL とローカルフォルダの関係
１－４．ウェブサイト制作に必要なもの
１－５．ウェブサーバー選び
１－６．KompoZer のカスタマイズ

２．基礎編　テキストの編集

２－１．書式ツールバーと機能
２－２．テキストの装飾や行の編集

３．ページの装飾と編集

３－１．編集ツールバー
３－２．ページのタイトルとプロパティ
３－３．ページの配色と背景
３－４．リンクとアンカー
３－５．水平線（横罫線）の挿入
３－６．画像の挿入と画像へのリンク
３－７．表（テーブル）の挿入

４．同時に使うと便利なソフトウェア

４－１．フォトレタッチソフト
４－２．ペイントソフトとバナー
４－３．スクリーンキャプチャーソフト
４－４．FTPソフト

５．版のバージョンとクレジット

1. はじめに （本書について）

このマニュアルは、私、あおもりくま(aomorikuma)が個人的に制作した非公式マニュアルです。公式サイトへの問い合わせはご遠慮ください。とはいっても公式は英語ですが。

内容についてはバージョンアップに伴って改定されるかもしれないこと。 逆にバージョンアップのたびの改定を約束しないことも予めご了承ねがいます。 また本書は参考書であり、公式マニュアルではないため正確性についての保障もいたしません。

本書に対する感想や誤字脱字の報告は私のメールアドレスか、ウェブログ(以下:ブログ)に訪問してくだされば幸いです。

本書の概要

- ウェブサイト開設にあたって、サイトやページって何？の疑問を解決できるかもしれない。
- 情報の共有とWeb標準の重要性が分ってもらえるかもしれない。
- ウェブサイトの公開に必要な最低限の知識の取得ができるかもしれない。
- KompoZerというソフトウェアの優位性が分ってもらえるかもしれない。
- KompoZerと一緒に使用する各種ソフトウェア群の参考になるかもしれない。

ウェブとは「情報の発信と閲覧と共有」のための技術であり、閲覧者の所持するパソコンやOSおよびインターネット環境に依存することは望ましくはありません。

WEB標準とはOSやブラウザに限定・依存しないページを公開することで、「どんなOSやブラウザでもほぼ同じように誰でも閲覧きるようにしようよ」ということです。

現在、この問題については以下のことが挙げられます。

- Windowsのユーザーが圧倒的に多くWindows以外のユーザーが軽視されている。
- 不当なMicrosoftの圧力の結果Internet Explorerのシェアが高くなりすぎたこと。
- Macユーザーは Internet Explorer専用サイトが閲覧できる手段が無い。
- OSにはWindows以外にMac OS 、Linux系、Unixがあることがあまり知られていない。
- Internet Explorerだけ Web標準への対応が遅れている。
- ウェブサイトを制作するソフトが意図的にInternet Explorer専用にしてしまうことがある。
- Firefox、Opera、Safari、Google Chromeなどのブラウザの存在があまり知られていない。

このことで起きる不平等や弊害は以下のとおりです。

- 本来のウェブの役割「すべてのネットユーザーが情報を得られること」が軽視される。
- せっかくの訪問者がウェブページの閲覧に支障をきたし閲覧を諦める。
- 特定ブラウザへの依存で発生する大規模なウイルス感染被害の対応遅延。
- 不平等な競争により新しいウェブ技術の発展への障害となること。
- Web標準が遵守されないと、ウェブのバリアフリー化が進まない。

企業なら特に留意しなければなりません。少数派とはいえMacもLinuxもUnixも無視してよい筈がありません。せっかくの訪問者をがっかりさせないようにしましょう。
ちょっとしたウェブサイトであれば簡単に手直しでき、Web標準への対応は容易でしょう。

© 2003 - 2009 aomorikuma's General laboratory Manual Project

１－１．KompoZer とは

KompoZer （コンポーザー）とは、このようなソフトウェアである。

- **Nvu(エヌ・ビュー) から大きなバグを取り除いた改良版。Nvu 非公式バグフィックスである。**
- **オープンソース（OSS）で開発されるソフトウェア。Firefox1.0 系 レイアウトエンジン Gecko。**
- **原型は Mozilla Suite 同梱の HTML エディタ Composer の性能を大幅に向上させたもの。**
- **KompoZer はウェブ・オーサリング・ソフトウェアというカテゴリーのソフト。**
- **無料で配布されており、コピーしても複数のパソコンにインストールしても合法。**
- **Windows2000 / XP / Vista 。Mac OSX 。Linux 系の OS で使用できるマルチプラットフォーム。**

備考

ウェブオーサリングとは、ウェブページを制作・編集するソフトであり、一般的にはホームページ制作ソフトなどと呼ばれ、KompoZer は WYSIWYG（**ウィジウィグ**）というワープロ感覚でページを編集できるソフト。

オープン・ソース・ソフトウェア（**以下：OSS**）とは、プログラムの中身（**ソースコード**）が誰でも見られるように公開されたソフト。プログラム本体が公開されているがゆえに怪しい代物ではないという証明に等しい。

Mozilla Suite は、Mozilla Foundation（**Mozilla Corporation**）が指揮を執り、世界中のハッカーによって改良・進化するオールインワンのインターネット・アプリケーションであり、ブラウザ、メール、オーサリング、チャットが一体となったインターネット統合ソフトである。
現在の Mozilla は SeaMonkey プロジェクトに移行している。

KompoZer の生成するソースのマークアップ言語は、HTML / CSS / XHTML のいづれかを選択できる。HTML は古いマークアップ言語だが、古いパソコンのブラウザでも表示が可能だ。CSS は現在の主流で、XHTML はもっとも新しいマークアップ言語である。

Composer や Nvu、KompoZer ではソース（**マークアップ言語**）を理解していなくてもワープロ感覚で編集でき、自動的に互換性がとれたソース（ウェブページ）を生成するので、専門知識を必要とするマークアップ言語を理解していなくとも短期間でページを作成できる。

KompoZer のダウンロードと日本語化およびメニューのカスタマイズの方法は当サイトのサブページに用意しているのでそちらを参照。 マークアップの設定やページの編集は項目１－６を参照のこと。

はじめての KompoZer はどのような人々に適しているか。

- **とにかくお金を掛けずにウェブサイトを作りたい。**
- **操作が単純で操作も少なく、多機能よりもシンプルなソフトを探している。**
- **市販のソフトウェアを揃える費用も時間も無く、予算の申請もしたくない。**
- **自治体主催の IT 教室や講座でホームページ制作をすることになり、すぐに揃えられるものがいい。**
- **中小企業に勤めているんだけど、会社のホームページ作れって社長に言われた。**
- **バンド活動しているんだけど自分たちの活動や曲をみんなに知ってもらいたい。**
- **地域の活動や NPO 団体に属しているんだけど、自分たちの活動を紹介したい。**
- **学校の授業やIT教室。公共機関などでホームページ作成講座を実施したい。**
- **とにかく操作説明に時間を割くより作ること主体で、短期終了できる講座に適したものが欲しい。**
- **Web 標準を遵守したい。Mac ユーザーなどもちゃんと閲覧できるページを作りたい。**
- **っていうか Mac ユーザーなんですけど、フリーで良いソフト無いですか？**

過去にあおもりくまの制作した「はじめての Composer Ver.4.0」は、これまでに行政の講座や教育機関、個人のウェブサイトの作成まで様々なシーンにおいて推奨されてきたマニュアルで、膨大なダウンロード数と実績を誇り、現在もダウンロードされつづけています。トップのカウンターはトップページを見た人の数なのでカウントには入りませんが、当サイトは１日で 450～800PV あります。

このマニュアルシリーズが提供できるのも、素晴らしいソフトウェアを提供してくれるオープンソースコミュニティーや多くの貢献者。フリーソフトの作者様のおかげです。
費用をかけず、工夫次第でいろんなことができるという証明と同時に、私も自分のサイトの SEO 対策の一環として他には無い印刷して使うマニュアルが提供できるのです。
マニュアルがあるからソフトの利用促進に繋がるということではなく、便利なソフトがあるのに普及しないから分りやすいマニュアルを用意してしまえという方針ではじめたこの企画ですが、コンスタンスに需要があるというのは、ソフトウェアのお陰です。

１－２. ウェブサイトとウェブページとブラウザ

一般にホームページと呼ばれがちだが、ホームページとはホーム位置にあるページのことで、ドメイン直下の階層にあるインデックスファイル（http://ドメイン/index.html など）のことを言う。名刺記載のホームページ URL は実際にホーム位置なので表現は正しい。

ウェブページはウェブブラウザで閲覧できるページであり、ドメイン以下のサブページを含めたウェブページ全体をウェブサイトと呼び、ホームページとは呼ばない。しかし、ウェブサイト作成のプロがこのホームページという単語を多用するのは理由がある。 実際、これを読むまでウェブサイトのことをホームページだと思っている人が推らく圧倒的に多だろう。実際のところそんなものだからだ。 だから分りやすく誤った表現を使わざるをえないのである。ホームページはホーム位置にあるページでありサイトのトップページのことである。

ウェブ上で表示されるサイトはウェブ・ブラウザというインターネット上にあるページを表示するためのソフトウェアで、通常は単にブラウザと呼ぶ。

Windows の場合 Internet Explorer（**略称はIE**）が最初から使えるように導入されてはいるが、インターネットに接続する方法は何も Internet Explorer だけではなく、Mozilla Firefox、Opera、Apple Safari、Google Chrome などがある。ブラウザはデスクトップにある青い e のアイコン Internet Explorer だけではない。

現在は高度なセキュリティーと先進的な技術が導入されたブラウザが Firefox を筆頭にシェアを拡大しつつけており、逆に時代遅れでなかなか使い勝手が良くならない Internet Explorer のシェアはどんどん低下している。

ウェブページを解釈し表示するためのプログラムはレイアウト・エンジン呼び、大きく分けて4つのエンジンが存在する。（レイアウトエンジンまたはレンダリングエンジン。描画エンジンとも言う）

- **Internet Explorer は Trident エンジン**
- **Firefox・Mozilla Suite・SeaMonkey は Gecko エンジン**
- **Apple Mac Safari・Google Chrome・シイラは Webkit エンジン**
- **Opera は Presto エンジン**
  ※普及率順に記載

ブラウザはこのエンジンを通してページを表示するなどの処理を行なっている。 エンジンが違えば解釈の違もあり表示に若干の違いが出る。Internet Explorer は特にバージョンごとに違う解釈をするので厄介なレイアウトエンジンである。

Web 標準に適合したページを作ることで誰でも情報を閲覧できることにあり、ソースをテキストエディタで直に書けるとかビルダーや KompoZer などのオーサリングソフトを使うなということではない。 目的の為の手段があるわけで、手段のために目的を達成できないというのでは本末転倒である。

Web標準に極めて近いページを生成する Composer 系のオーサリングソフトを使えば、ほぼ全てのブラウザで同じような表示となるソースを生成してくれるので、特別な知識や意識がなくても高度な WEB 標準に準拠したページが勝手に出来上がる。（W3C で当サイトを検証）

ページのタイトル省略とリンク切れを起こしてはしてはいけない。代替テキストも必須。

たまにページのタイトルを省略している人がいる。ページのタイトルはブックマーク（お気に入り）にも使用されるのでこれを省略するとタイトルが空白や無題になってしまう。これほど間抜けなことは無い。ページにタイトルが無いのは致命的なミスだ。

また、検索すると一番近いページが普通に検索結果に出る。そのページを訪問してもサイトのトップに戻るリンクが無かったり、バックボタンとおなじ機能のリンクを入れている人が居る。そのページに検索サイトの結果から訪問した人は[戻る]をクリックしてもトップに行けない。 各ページにはトップページへ戻るためのリンクが不可欠だ。せっかく何かの縁で訪問してくれた人をトップページに誘導せずに帰ってもらうのは勿体無いことだ。

１－３．ウェブページの URL とローカルフォルダの関係

たとえば私のサイトであればトップページは http://aomorikuma.hp.infoseek.co.jp/ である。サブページを表示するときは、フォルダで区切ってその中にページの名前を略した英数字のファイル名＋拡張子（html または htm）と続く。

infoseek には aomorikuma というサブドメインを申請した。これでサイトの URL に自分のハンドルネーム（aomorikuma）が入るので、サイトの URL にインパクトを与えられ、検索してもらいやすい。
有料サーバーと独自ドメインを取得すれば、自由なウェブページと URL を持つことができるのでインパクトのあるドメインにしよう。無料のサーバーもサブドメインが使えることが望ましい。

Ｆドライブの website というフォルダの中に、isweb というフォルダを作って、これをローカルフォルダとした場合、私のパソコン上にあるローカルフォルダのトップページの**相対パス**はこうなる。

```
F:¥Website¥isweb¥index.html
```

これをサーバーにアップロードすると、ウェブ上での**絶対パス**はこうなる。

```
http://www.aomorikuma.hp.infoseek.jp/index.html
```

さらに、各サブページのパスと URL の位置関係はこうだ。

```
ページ名 : AM ラジオ遠距離受信
  URL    http://aomorikuma.hp.infoseek.co.jp/making/260pf.htm
  PC 内  F:¥Website¥isweb¥making¥260pf.htm

ページ名 : WindowsXP 用 YAMAHA XG WDM SoftSynthesizer インストール
  URL    http://aomorikuma.hp.infoseek.co.jp/pc/yamaha_syxg50wdm.html
  PC 内  F:¥Website¥isweb¥pc¥yamaha_sxg50wdm.html
```

ローカルフォルダは自分のパソコン内のフォルダだ。USB メモリでも外部ドライブでも D ドライブでも好きな場所に置いて良い。できればドライブが壊れても消えない場所が望ましい。

パス（ファイルやフォルダの場所をパスという）はパソコン上でもサーバー上でも位置を変更したら同じようにパスが通るように修正しないと画像やページのリンク切れを起こす。
また、ファイルやフォルダの名称や拡張子は大文字小文字を問わず、全く同じ名前にしないと簡単にリンク切れを起こしたり、画像が表示されなくなってしまう。使って良い文字列は英数モードでの半角で A～Z と a～z と 数字の 0～9 と _ のみ。

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 0123456789 _

URL に相応しくないこと。やってはいけないこと。

- **日本語ドメインや日本語でのファイル名の使用。最近流行っているそうだが利点は無い。**
- **同じくファイル名への半角カタカナおよび全角平仮名・全角カタカナ・漢字の使用。**
- **同じくファイル名への ！″＃＄％＆'（ ）＋／＊；：＜＞＝￥などの記号の使用。**
- **ファイル名やフォルダ名の区切りにスペースを用いること。**
- **とんでもなく長いファイルやフォルダ名の使用。**

サービス途中で仕様変更があると修正が多くなり対応できない。 昔は半角英数の 6 文字以内という非常に厳しいものだったが、現在では緩和され文字列の規則を守れば後から面倒が無くて良い。この基本的な法則にしたがってファイル名をつけると、別のサーバーに引越してもサーバーの仕様が違っても困らない。

サイトの自動翻訳が進んでいる時代なのでどこの国の人が見ているか分らないなどの理由もある。 訪問者は日本人だけという人は好きにすれば良いが、サイト偽装など後でひどい目に遭う可能性もある。 URL に日本語を使用するのは類似する名前で偽装サイトに誘導される危険を孕む上に日本語ドメインが使用できないサイトへの引越しには全ファイル名の変更必要になるので絶対にお奨めしない。

１－４. ウェブサイトの設計・制作目標

何のためにウェブサイトを作るのか考えよう。ブログでも充分ならブログの方が開設も記事の投稿も何もかも面倒が無い。 だが、ウェブページにはブログにできないページごとの自由なレイアウトやデザインが可能だという利点がある。

目的が決まったらウェブサイトのデザイン、内容、SEO（Search Engine Optimization：検索エンジン最適化）対策について考えること。 見栄え重視にするか、シンプルに整理整頓された配置にするかは自由。ブログにはできない自由なレイアウトだって可能だ。

個人サイトであれば見栄えなど二の次で趣味の世界に走っても構わない。しかし企業・団体などのサイトではそうもいかない。ウェブサイトはウェブ上にある企業や団体の看板なのだ。

当然ながら Web 標準には対応させ、Windows の IE では表示されて Mac の Safari では表示が崩れるということは非常に印象が悪く、IE でしか表示確認をしないウェブマスターは三流だ。

ページデザインはオーサリングサフトで可能なものであるか事前に考慮して行なうこと。下書きでいくら綺麗にデザインしても、それを表現できるテクニックが無ければ絵に描いた餅と同じ。

制作において常に以下の点を留意すること。

- 効率アップのために使用するツール類は自分が使いやすいものを選定すること。
- 画像を多用しすぎてページの表示が重くなっていないか容量を確認する。
- 配色の組み合わせやデザインはどうか。原色ゴテゴテでチープになっていないか。
- 文字は読みやすい大きさか。小さすぎないか。バランスは取れているか。
- テキストに機種依存文字や特殊記号・特殊なフォントを使用していないか。
- 代替テキストは忘れていないか。
- ページのタイトル／作者／説明／キーワードに漏れがないか。
- ページを複数のブラウザ（少なくとも2つ以上）で検証したか。
- ページや画像などのリンク切れが無いか。全サブページへトップへのリンクを入れているか。
- 誤字脱字はないか。文字化けを起こしていないか。ちゃんと文字が読めるか。
- 商用サイトなら文体を統一してあるか。稚拙な文章になっていないか。
- ウェブサーバーへアップロード後にサイトの表示を忘れていないか。

良くないウェブサイトの例。

- 容量・サイズの大きな画像をページに挿入してから無理矢理縮小する行為。
- 写真を Bitmap / GIF / PNG / TIFF で使用する。（普通は JPEG である）
- 大容量の GIF アニメーションをパーツとして使用する行為。
- 閲覧者に危険を及ぼすサイトへの誘導を促すリンク。
- アダルトサイト以外のページからアダルトサイトへのリンク。また、年齢認証のないアダルトサイト。
- 公序良俗に反するサイトの運営や、著作権・肖像権を無断使用の違法行為だらけのサイト。
- ブラウザを限定するような表示。（閲覧に特定のブラウザを指定した推奨の表示）
- IE の ActiveX コントロールの使用。特定のブラウザに依存する JavaScript の使用。
- 読み物などの配布文書を一太郎や花子や OASYS といったマイナーな形式で添付する行為。
- 他所のサイトにあるお持帰り用素材を自サイトから直リンクする迷惑行為。
- ファイル / フォルダ名に日本語・特殊文字・マルチバイト文字を使用する。
- 読み上げブラウザが認識できない「文章を画像で挿入」し代替テキストを省く行為。
- ひとつの画像を無意味にコマ切れにして貼り付け読み込みに時間の掛かる無意味な行為。
- 大容量の FLASH コンテンツで HTML ページを用意していない。また SKIP も用意されていない。
- いきなり大音量の BGM および、大音量の音声付マルチメディアを挿入する行為。
- 画面そのものやリンクを激しく点滅させるなど目に悪い行為。
- サブページにトップページへのリンクが無い。ブラウザのバックボタンに頼る行為。
- 特定の経路でしか辿り着けないページリンクの迷路化。サイトマップが無いウェブサイト。
- 企業や団体のサイトなのに連絡先の電話・FAX・メールアドレスのいづれも無いウェブサイト。

1－5. ウェブサーバー選び

ウェブサイトの公開には、ISP(**ホームページ公開スペースを提供するサービス**)との契約が必要で、無料のものから有料のものまで様々あり、有料・無料を問わず事前にネットで噂や評価を検索することが重要。

私は過去に格安有料サーバーで大失敗を経験しているので、ISP の選択は特に慎重であるべきと考える。インターネット接続サービスのプロバイダにもこのサービスを提供しているところもあるので新たに申し込まなくてもすぐに使えるところもある。

ISP の中でも人気の高いサービス

サーバー管理者が優秀である楽天 infoseek はとてもお勧めで、無料の **isweb ライト(50MB 上下に広告)**は広告の自動挿入によってテーブルレイアウトしかできないのだが、大量アクセスにも耐えうる優秀なサーバー。データを飛ばされたことも無く、運営に問題が出るほど長時間サーバーダウンしたことは過去に経験が無い。

1ファイルが数 MB～数十 MB などの巨大なダウンロードを含めるサイトに最適で、作品のダウンロードをさせたい利用者が多い。 最大の特徴は無料なのにファイル制限が殆ど無く CGI まで設置可能ということ。長らく放置しても安心。
上位プランの **isweb ベーシック(300 MB 広告なし)**は isweb ライトでの実績を考慮に入れると言うまでも無く完璧だ。

利用者が多いといえばこれ。FC2 web も人気があり有名である。最下段に Pwoered by FC2.com のみの表示で自由なデザインが可能。大容量 1GB で、他のサービスを組み合わせることによって FC2 のサービスだけで殆どのことができる。 ファイル制限が少し厳しく CGI の設置は不可だが CSS でのレイアウトも OK だ。

画像つきのごく一般的なのウェブサイトを運営するのであればなんら不都合は無く、大量のページを作りたい人には嬉しいサービスだ。有料プランでは、無料で制限されているファイル形式や1ファイル容量制限が解除される。安定性にも特に不満はないが長期間放置するとアカウントが削除されることもあるので更新は少なくとも2～3ヶ月に1回程度はおこなうこと。

規約についてはよく読んで、サービス内容も確認すること。ウェブサイトの目的を決め、自分のやりたいことが実現できる ISP であるか事前に確認すること。

- **全体の容量や1ファイルの容量制限とファイルタイプの制限。**
- **使用禁止ファイル(特にマルチメディアファイルなど)はあるか。**
- **ページのマークアップ言語の制限。**
- **広告の有無と、広告がある時は表示位置や大きさ。**
- **付加サービスの量や質。目的のサービスの有無を確認。**
- **サービスの実績および外部サイトでの評価や批評。**

まず最初に契約してしまう人が多いかと思うが、ウェブサイトを仕上げてからでも遅くは無い。早まると後で禁止項目に触れ、利用できなくなるのでサーバー選びは慎重に。

- **運営が軌道に乗ってから引越すると、リンクしてくれているサイトへの案内が面倒。**
- **独自ドメインじゃない人は、移転すると URL も変わってしまう。**
- **引越し直後は訪問者が激減するので非独自ドメインの商用サイトなら致命的。**
- **被リンクが切れ、Google Page Rank が N/A やゼロになる。**
- **ウェブサイトを検索サイトに登録しても、すぐに検索結果に反映されない。**

以下の点に注意して選定すること。

- **自分の目的を達成できるレンタルサーバーであるか精査する。**
- **大容量だと運営期間が長くても残り容量をあまり気にしなくて良いので安心である。**
- **頻繁に引越ししても居られないのでサーバー屋が簡単に倒産・閉鎖されないことが重要である。**
- **顧客が集まりだすと頻繁にサーバーダウンしたり、最初は制限がないのに重くなるという理由から禁止事項をどんどん追加し、利用規約・仕様を改悪する上にデータのバックアップも取らずにメンテしてウェブサイトのデータをまるごと消し去ってしまうような最悪なサーバー屋もある。**

選定に自信が無ければ、知り合いのウェブマスターにアドバイスを受けるか、ウェブサーバー比較サイトを巡回するのも選考手段のひとつである。分らないままサーバーを決めると致命的。

1－6. KompoZer のカスタマイズ

ウェブページのマークアップ言語（ソーステキストのタイプ）の出力をどのタイプにするかでブラウザの互換性が変わる。ツールやテーマのカスタマイズは当サイトを参照のこと。

現在の標準的なページのマークアップ言語は、

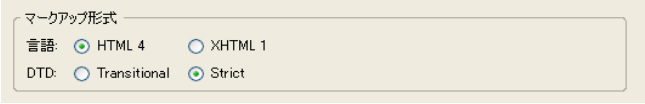
言語：HTML　4
DTD：Strict
CSS：HTML 要素・属性ではなく、CSS によるスタイル付けを用いる（チェックする）

Internet Explorer 4.0 や Netscape 4.x にまで対応させるのであれば

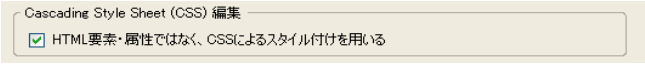
言語：HTML　4
DTD：Transitional
CSS：HTML 要素・属性ではなく、CSS によるスタイル付けを用いる（チェックしない）

を選べばよい。メニューはメニューバーの　**ツール→設定**　から設定する。

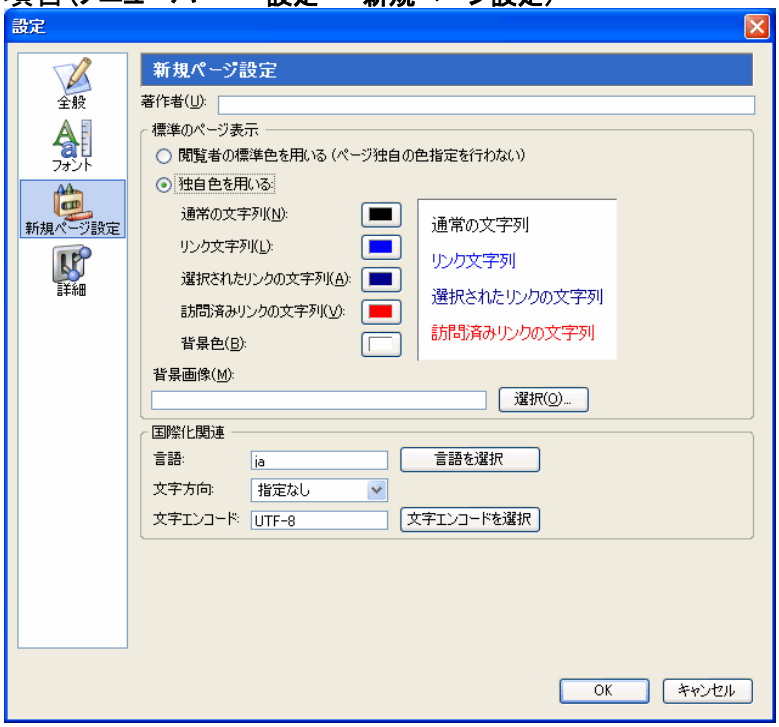
カテゴリ：詳細



カテゴリ：全般



新規作成の項目（**メニューバー → 設定 → 新規ページ設定**）



事前にこれらを登録しておくとページごとの入力や設定が楽になる。

- **著作者**：ページの製作者の名前。つまり貴方のこと。
- **標準のページ表示**：
  - **閲覧者の標準色を用いる**　→　一般的なサイトの標準配色にする。
  - **独自色を用いる**　→　自分で文字やリンク・背景色や背景を指定できる。
- **国際化関連**：
  - **言語**：ia は Japan の意味で日本を表す。
  - **文字方向**：指定なしだと左から右へ
  - **文字エンコード**：UTF-8 が望ましいが、SHIFT-JIS や EUC-JP、ISO-2022-JP などが使える。

設定したら［ OK ］をクリックすること。

2. 基礎編　テキストの編集

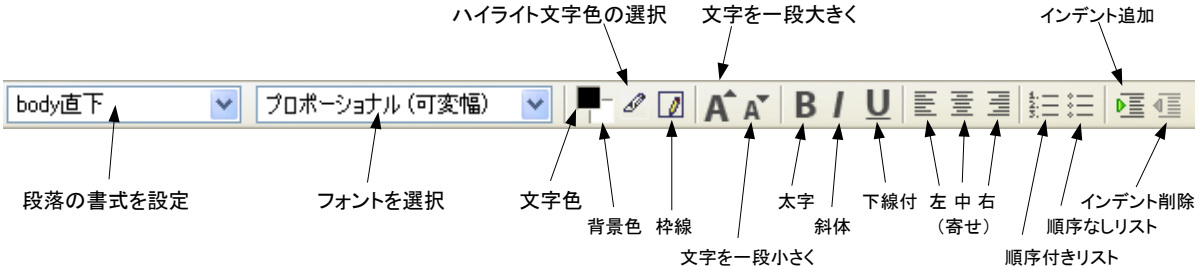
書式ツールバーを使ったテキストの編集（CSS の場合、ハイライトと枠線が使用可能）

「HTML 要素・属性ではなく、CSS によるスタイル付けを用いる」を使用した場合、HTML ではできない文字のハイライト（蛍光ペン）や枠線表示が可能になる。HTML を使用した場合はこれらの機能は OFF になる。

ここでは以下のツールバーの機能を説明する。実際には表示されているがあまり重要ではないものは説明を省くので、これ以外のツールは各自で試してみよう。テキストの編集はワープロソフトの文字装飾と一緒だと考えてよい。　※ワープロが普通に使える人は 2-3 へ飛ぶ。

2－1. 書式ツールバーと機能

よく使う書式ツールボタンの一覧



段落の書式設定

body 直下・段落・見出し1（大）～5（小）・連絡先・整形済み・汎用ブロック

フォントを選択

可変幅・固定幅 － － － 各種文字フォント。

文字色と背景色

文字の色と文字の背景の色。表の中の背景色は表のみに適用できる。

ハイライト

文字に蛍光ペンでマーキングしたような見栄えになる。テキストの強調よりビュジュアル的。

枠線

文字を線で囲んで装飾する。この機能を呼び出すとどのような装飾にするかプロパティーが出る。

左寄せ・中央寄せ・右寄せ

ページの文章や表、表のセル内にある文章や画像を左・右・中央に寄せることができる。

太字・斜体・下線付き

文字を**太く**したり、*斜体* にしたり、下線をつける。

文字の１段拡大・縮小　→　ブラウザによってサイズが大きく違うので使用禁止

メニュー＞書式＞サイズ　から5段階で指定すると比較的同じようなサイズになる。

順序付きリスト（番号付きリスト）・順序なしリスト（リスト）

選択範囲の行に対して、番号付きリストや箇条書きを施す。

インデントの追加と削除

インデントは選択範囲を5文字相当分だけ右に寄せる。

更に複数のインデントを掛けることが可能。

２－２. テキストの装飾や行の編集

編集・装飾をするには、その該当するテキストを選択する。実行は選択した部分に対して希望のツールボタンをクリックすることで施される。

当該テキストの選択とは、カーソル位置から[SHIFT]を押しながら カーソルキー(↑ ↓← →)で文字を選択するか、マウスカーソルで選択したい冒頭からマウスの左ボタンを押しながら選択したい終端までドラッグすること。

文字の装飾 （文字色・ハイライト・枠線・文字サイズ・太字・斜体・下線付き・フォントなど）

文章を入力する

① 今日は天気が良かったので海岸で散歩しました。

開始 → 終端

② 今日は天気が良かったので海岸で散歩しました。 太字をクリック

③ 今日は**天気が良かったので**海岸で散歩しました。

選択範囲が太字になった

行の装飾 （インデントやリスト・左右中央寄せ・段落の書式など）

① とりあえず、文章を入力する

ふきみその材料は以下のとおり
ふきのとう 1kg
酒粕 1kg
白味噌 2kg
赤味噌 1kg
みりん 1L
砂糖 1kg
クエン酸（酸化防止）小匙 1 杯

② 編集したい行を選択する

ふきみその材料は以下のとおり
ふきのとう 1kg
酒粕 1kg
白味噌 2kg
赤味噌 1kg
みりん 1L
砂糖 1kg
クエン酸（酸化防止）小匙 1 杯

範囲を選択する

③ 編集したいツールボタンをクリックする

リストをクリック

ふきみその材料は以下のとおり

- ふきのとう 1kg
- 酒粕 1kg
- 白味噌 2kg
- 赤味噌 1kg
- みりん 1L
- 砂糖 1kg
- クエン酸（酸化防止）小匙 1 杯

選択範囲の行がリスト化さた

3. ページの装飾と編集

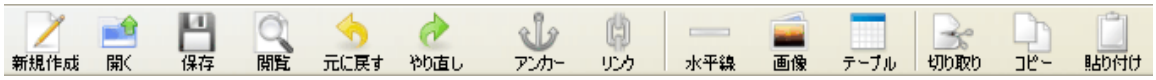
編集ツールバーを使ったページへの画像や装飾の挿入（全マークアップ共通）

ここでは一番よく使うツールの説明を行なう。 前項のテキストの装飾と違い、ここからはウェブページとしての編集に必要なツールだ。　ページに画像を挿入したり、ページ同士のリンクをする。表や罫線を挿入して読みやすくしたり、ページ内でのジャンプに使うアンカーとリンク。たった5つだけしっかりと覚えれば簡単なページはすぐに出来上がる。

3－1. 編集ツールバー

日本語化すると、各ボタンには日本語のツール名が表示される。

もっとも使うのは画像やリンク。次にテーブルや水平線（横罫線）で、ページ内の移動に使うアンカーの5個。 人によっては元に戻す・やり直しや、切り取り・コピー・貼り付けもよく使うだろう。新規作成はKompoZer の起動時に新規ページとして開いているし、開くは編集の続きや更新のときに使う。
保存は新規の場合に「名前をつけて保存」となり、編集中は「上書き保存」として機能する。 これを読んでいる人が考えているよりもこれらの操作は難しい物ではないし、プロパティーの画面も非常に単純で分りやすい。



ツールの概要

新規作成
編集中に新しいページを作るときにクリックすると新しいタブが開く。

開く
以前、編集したページを修正・更新する時にクリックする。

保存
新規作成中のときはページのタイトルの入力後に保存先を聞かれる。更新中のページの場合は上書きになる。

閲覧
ブラウザでページをプレビューする。閲覧前に上書き保存すること。

元に戻す・やり直し
ひとつ手前の操作を取り消す　／　取り消した操作を戻す

アンカー
ページに目印を付ける。目印にはリンクからジャンプできる。いわゆる見出しのような機能。

リンク
サイト内のリンク（相対パス）と、サイト外（外部サイト）のリンク（絶対パス：http://www.で始まる）を対して行なうもの。 見出しやアンカーに対するリンクの選択。

水平線
画面上に横一直線の線を引く。

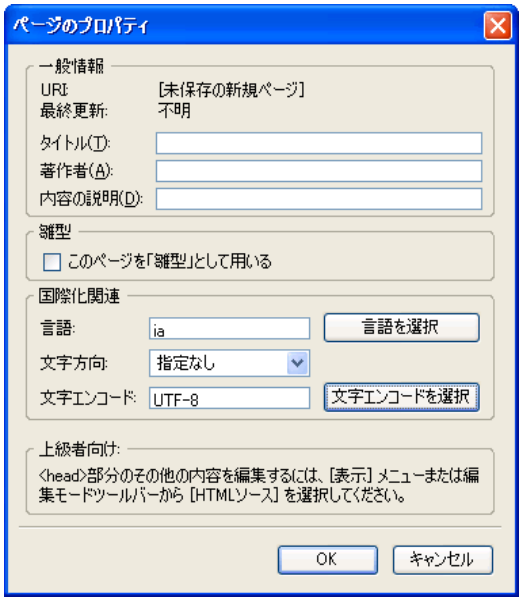
画像
ページに画像を挿入する。クリックしたときにジャンプする画像へのリンクもここ。 画像に対してテキストをどのように這わせるか。リンクの枠を表示するか選択できる。

テーブル
画面に表を挿入する。表やセルの背景色を指定できる。セルに画像や文字を挿入できる。枠線の太さや余白を指定できる。線の太さを0にするとテーブルを使ったレイアウトができる。

切り取り・コピー・貼り付け
テキストだけではなく、選択範囲の画像・表なども含めて切り貼りできるが、表などは前後からソースでコピーしないとレイアウトが崩れることもある。

3－2. ページのタイトルとプロパティ

ページを新規作成した後に一番最初に入力する項目で、ページの中に書くタイトルとは違ってウェブページの名前やブックマークのタイトルであり、検索エンジンが検索ワードとして利用する重要な要素。ページの中につけるタイトルじゃなく、ウェブページそのもののタイトルである。 ※ここを入力したら、必ずページを保存してページの位置を確定すること。



一般情報

タイトル:ここに日本語でも英語でも何でも良いのでページのタイトルを入力すること。
著作者:ページを作成した貴方の名前
内容の説明:ここに説明とキーワードを入力
例:ループアンテナ,ラジオ,電波,検波

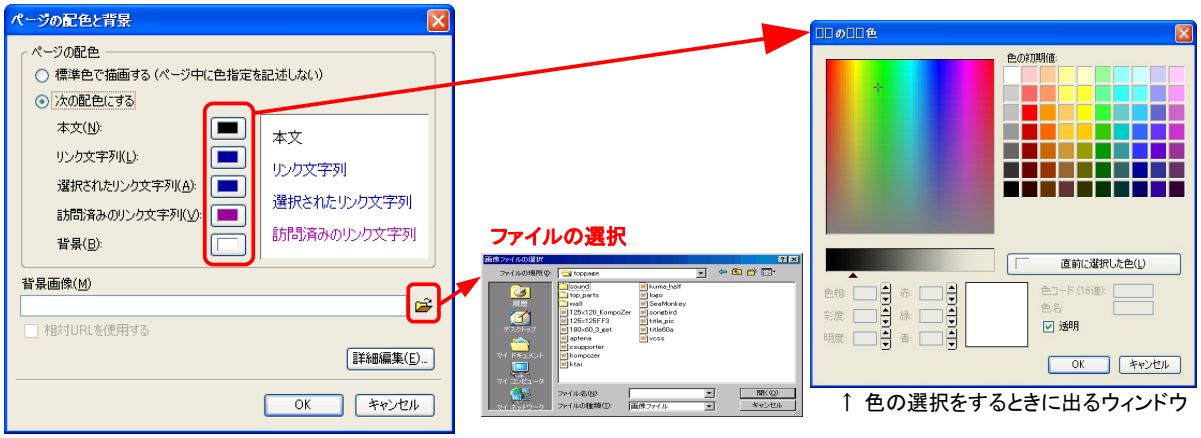
国際化関連

言語:ja ←日本の意味
文字方向:通常は[指定なし]で左から右へ
文字エンコード:UTF-8 ← 国際化として望ましいコード
※SHIFT-JIS ISO-2022-JP EUC-JP なども日本国内では有効。
すべてを指定したら [OK] で確定する。

確定後、保存ボタン(フロッピーディスクのアイコン)を押してページを半角英数のファイル名をつけて保存すること。トップページであればファイル名を index と入力して保存する。
サブページなら分りやすい名前で同じく半角英数のファイル名で適当な場所へ保存すること。
※日本語名のファイルは絶対に却下である。

3－3. ページの配色と背景

ページの配色は、テキストの色・リンクの色・マウスポインタが重なったときの色・既にクリック済みのリンクの色・背景の色を標準色にするか、自分で好きな配色にするか決め、背景には画像を使用することもできる。



↑ 色の選択をするときに出るウィンドウ

初期値:文字＝黒／リンク＝青／選択されたリンク＝青／訪問済みリンク＝紫／背景色＝白(透明)
背景画像は小さなタイルの画像(自動的に四方へ並んで背景が埋め尽くされる)や写真を使用してもよいが、あまり大きなサイズの写真を使用すると、ページの表示に時間が掛かってしまうので注意すること。 通常は PNG や GIF のタイルパターンの画像を使用する。当サイトにもお持ち帰り用の古い素材集があるのでサンプルとして使用しても良い。

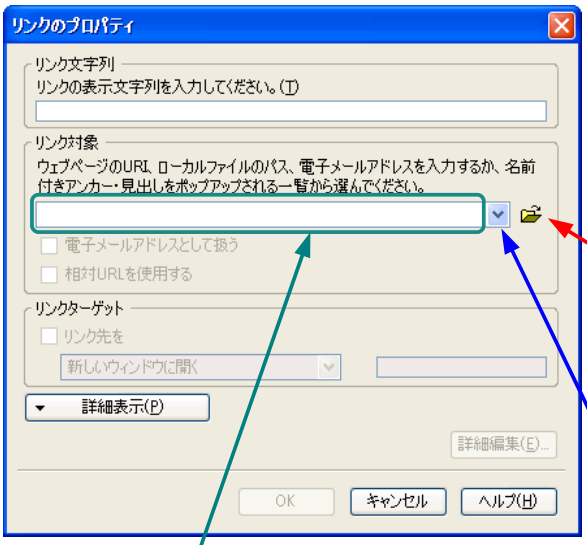
配色のウィンドウ

カラーは右ウィンドウの左側グラデーションから選択し、その下の濃淡で調整するか、右のパレットから直接選択するか、カラーコード(16 進数)またはカラー名で選択できる。この右のウィンドウは KompoZer では共通のもの。
文字や背景、表の背景・セルの背景、枠線やハイライトなど色の選択の際はこのウィンドウが出る。各配色ごとに、最後に選択した色を終了するまで記憶している。**(以後説明省略)**

3－4. リンクとアンカー

リンクを使わないウェブページは1ページも存在しない。リンクも主に4タイプある。
※新規ページの場合、事前にページを保存すること。

① 自分のサイト内の行き来で使用するリンク(HTML ファイルへの相対パス)
② 自分のサイトの外にあるリンク(http:// への絶対パス)
③ ページ内ジャンプするためのアンカーと見出しへの参照(#anchor・見出し1～)
④ ダウンロードと実行のためのファイルのリンク(画像・圧縮ファイル・PDF 文書など)



文字に対してページへリンク

例： 詳しくはリンクを参照のこと

とする場合、選択範囲は

詳しくはリンクを参照のこと
① 開始 ←→ 終端 を選択する
② リンクボタンをクリックする
③ 当該ページ参照(HTML ファイルを参照)
④ [OK] をクリックする

文字に対してアンカーへリンク

① ② の方法は上に同じ。
③ でリストを表示すると、打ち込んだアンカーの候補が出るので、その中から選択する。
#で始まる文字列が並ぶ(下記アンカー参照)
④ [OK] をクリックする。

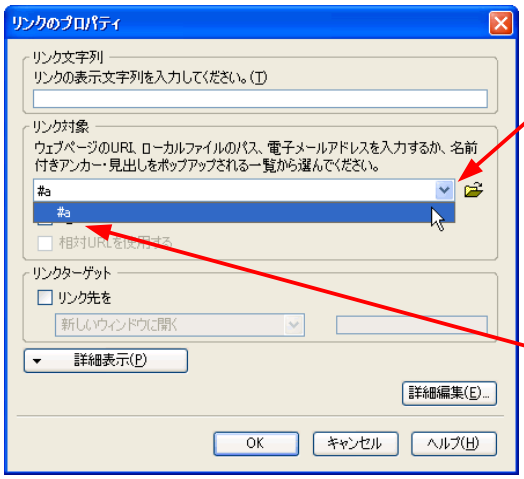
文字に対して外部サイトへリンク

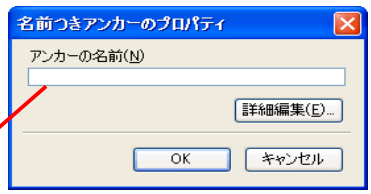
① ② は上に同じ。
③ ブラウザの URL バーからアドレスをコピーしたものを貼り付ける
④ [OK] をクリックする。 ※ http:// で始まるアドレスのこと

テキスト(文字)でもリンク先にページ以外のファイルを指定して良い。例えば、Download というテキストにダウンロードさせたいファイル。PDF を読むというテキストに PDF ファイルを指定しても良い。

ページ内の特定の場所へアンカーを打つ

ページ内の特定の場所に目印を打ち込むことで、その目印しをリンクから辿ることができ、好きな場所にアンカーを打つことで、同じページ内の離れた行へもクリックひとつでページが移動する。
当サイトの AM ラジオ遠距離受信ページは縦に長いので、アンカーとリンクがたくさんある。
アンカー を打つと リンク対象 の候補の中にアンカーと見出しのリストが現れる。



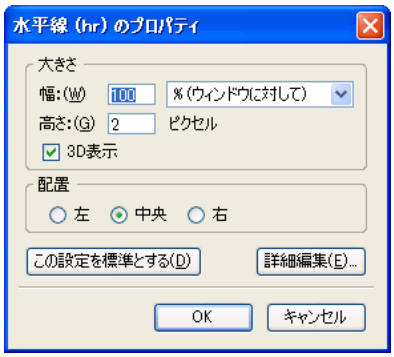


アンカー をつけたい行の1行上にカーソルを当て、アンカーボタンをクリック。アンカーの名前は半角英数で分りやすいもの。ブラウザによっては機能しなくなるので日本語では打たないこと。適当な英数半角を使う。
打ち込んだアンカーは、リンクのプロパティーの空白をマウスでクリックすると、そのページ内にある見出しとアンカーが候補として表示されるので、マウスで選択して [OK] ボタンをクリックすればよい。

適当なアンカーの名前が思いつかなければ 0～9 、A～Z などの英数半角で。「最後」なら saigo などと書く。アンカーの名前は同じものを使用できないので違う名前でつけること。アンカーには自動的に候補の頭に#がつくので、自分でアンカーの名前をつけるとき先頭に#を付与する必要はない。

３－５. 水平線（横罫線）の挿入

ページ内の任意の行に対し、横一直線の罫線を引く。ページ内で区切り線を入れたいときに水平線のボタンをクリックすると水平線がカーソル位置に挿入される。

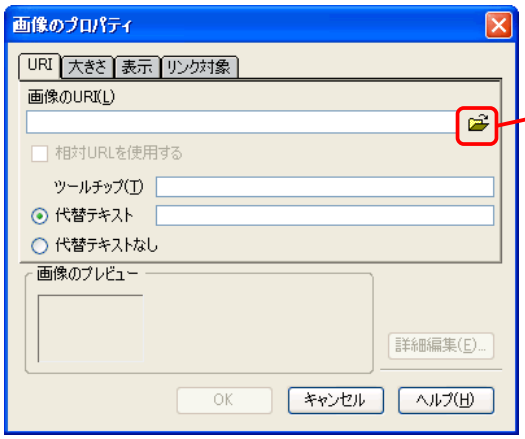


挿入した水平線をダブルクリックすると水平線のプロパティーが出る。
水平線の長さ（ピクセル）や、長さの割合（%）および水平線の高さ（太さ）と、視覚効果、左右中央のどちら寄りに表示するか選択できる。
初期値の 幅 は最初横方向に100%で、 高さ は2ピクセル、 ３Ｄ表示 になっており、表示位置は中央になっている。

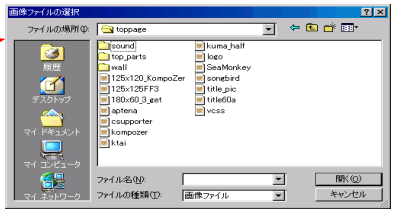
ウェブページの幅に対しての割合を%で指定したり、実寸のピクセルで指定することもできる。幅の100で%を選ぶと100%。640でピクセルを選ぶと幅の長さが640ピクセルになる。**1ピクセル**は画素数で**点1つ分のサイズ**だ。
ピクセルに変更する場合は%をクリックすると%かピクセルの2つの候補が出る。数値の部分は**キーボードで数値を入力**する。３Ｄを解除すると、単なる塗りつぶしの線になり、３Ｄにすると陰付きの水平線が表示される。

３－６. 画像の挿入と画像へのリンク

ウェブページには文字だけでは味気ないので写真やウェブページの装飾として画像などので素材を使うことが多い。また、画像に沿って文字を表示するようにしたり、画像に余白をつけて文書を画像から少し離して表示させたりもできる。
リンクのボタンを画像にして、画像のボタンをクリックすると別のページに飛べるように画像へのリンクも埋め込みできる。その他には、画像の輪郭にリンクの縁取りをつけて画像がリンクであることを分るように表示することもできるが、画像そのものにマウスポインタを重ねるとポインタの形状が変化するので、現在では普通に画像へリンクを埋め込むだけの方法がシンプルだ。



画像を挿入したい位置で画像のボタンをクリックするとこのウィンドウが現れる。



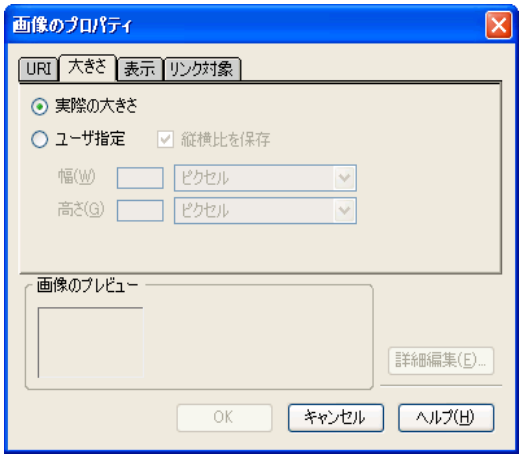
［画像の URI（URL）］は画像の場所。サイト内の画像を参照する他に、外部サイトのお持ち帰りバナーに直接リンクを希望するサイトもある。
［ツールチップ］はウェブページで画像にマウスポインタを重ねた際に表示されるコメントのようなものだ。

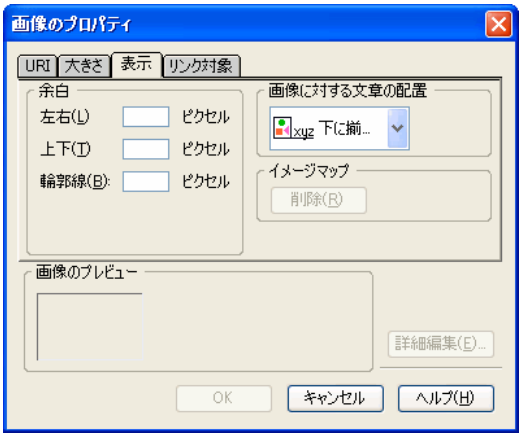
［代替テキスト］は重要で、画像を表示しない視覚障害者は、読み上げ式ブラウザを使用しているため、画像の変わりに画像の説明文を入力するように推奨されている。 画像のプレビューは、画像が選択されると小さく画像のイメージが表示される場所である。

次に ［大きさ］タブ だが、実際の大きさでよい。ユーザー指定をすると右記のように縦横のサイズをピクセルで指定できるようになっている。

ここは上の［実際の大きさ］を選択するようにする。 画像も事前に使用するサイズへ縮小しておくこと。 ウェブページ上で画像を縮小してもファイルサイズが小さくなる訳ではないので画像はページに挿入する前に実際に使う大きさまで縮小しておくこと。

ユーザー設定 を使う場合は中途半端な比率にすると画像が汚くなるので注意すること。 特に拡大すると画像が汚れ、縮小でも50%は綺麗だが、それ以外は画像が荒れることがある。





[表示タブ] は画像の上下/左右に余白を設けたり、輪郭線を表示したり、画像に対して周囲のテキスト(文章)をどういう配置にするかを指定する。このマニュアルのように画像を避けて文章が表示されるように配置することがウェブページでも可能だ。

[余白]

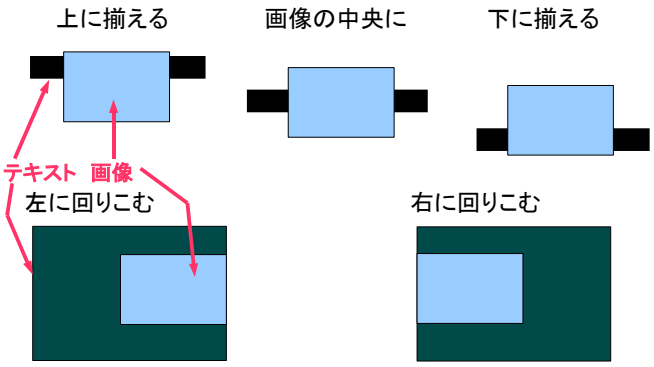
余白の単位はピクセルのみ。数値をキーボードから入力する。

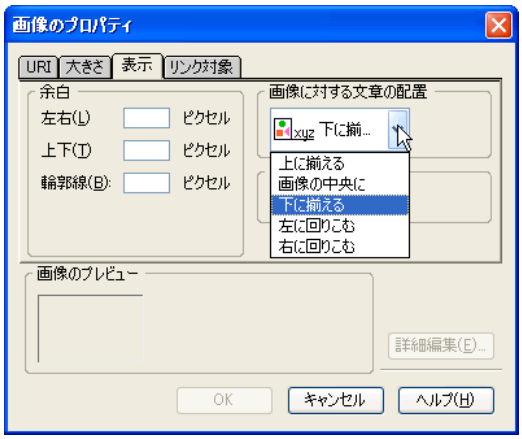
画像に文章がくっ付きすぎると読みづらくなるので、最低でも2ピクセル。通常でも5ピクセルくらい余白をつけたほうが良い。

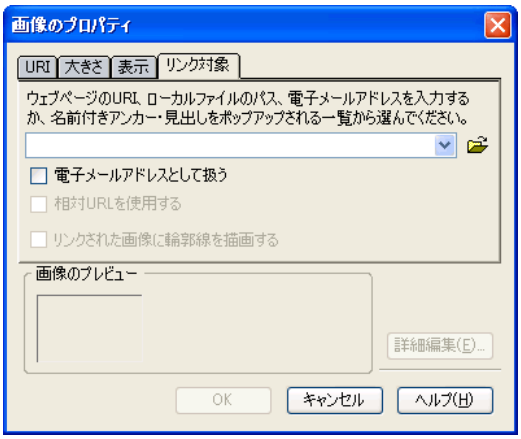
輪郭線は画像の周囲に枠をつける機能で、画像の上下左右に同じ幅の輪郭をつけられる。

この輪郭線の色は ページの配色と背景 で指定したリンクの色になるのでページの配色を上手く組み合わせれば良い視覚効果を得られる。

画像に対する文章の配置







[リンク対象] は画像に対してページ内リンクや外部サイトの URL。 または画像に対して特定のファイルを参照させることができる。

ページへのリンクの場合は黄色いフォルダボタンをクリックするとHTML ファイルを参照できる。

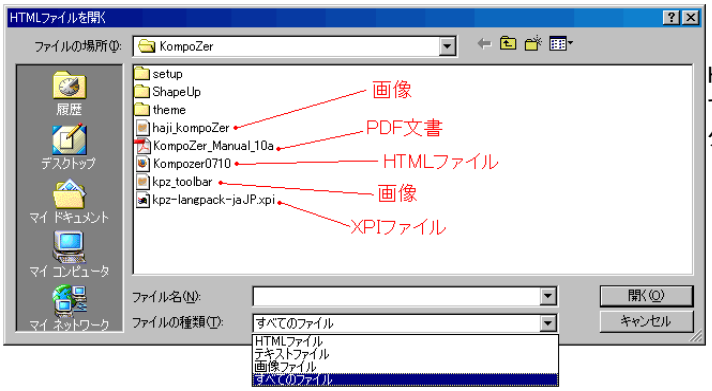
外部サイトの場合は空白に URL を貼り付ければよい。

小さな画像に大きな壁紙の画像をリンクさせれば、小さな画像をクリックしたときに大きな画像がブラウザで表示される。画像にリンクをする場合は、ファイルの種類を画像や全てにすると良い。

ダウンロードさせる場合は、ブラウザで直接開けないファイルに限定される。PDF はプラグインがあるとブラウザで開く。その際は閲覧者が開くか保存するか選択することになるので気にしない。

画像へのリンクでよく使われるのはボタンやバナー。そしてサムネイル。画像から HTML ファイルをリンクさせること。画像へのリンクとテキストのリンクの違いは画像のリンクには輪郭線が使えること。

具体的なリンク対象について(このリンクの方法はテキストへのリンクでも同じ)



ローカルファイルのパス(リンク)を開くと、HTML ファイルを開くというウィンドウが開くが、すべてのファイルを選択すると参照先のフォルダにある全てのファイルが表示される。

リンクをクリックした時に

①画像を表示したい場合は画像を選択

②他のページなら HTML ファイルを選択

③ PDF 文書なら PDF を選択

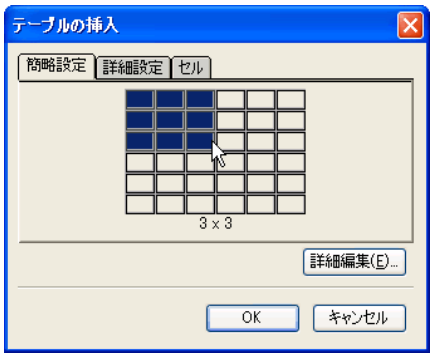
④ダウンロードさせたいならそれ以外のファイルを選択する。

⑤テキストファイルはブラウザで表示できる

フォルダをクリックするとフォルダは開き、そのなかのファイルを参照できる。別の階層のファイルならファイルの場所を変えれば良い。

3－7. 表（テーブル）の挿入

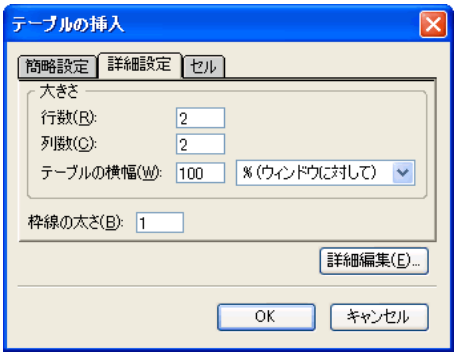
テーブルには罫線を表示し表として使用する場合と、罫線０ピクセルで表を表示せずセルで画面を仕切ってデザインを行なうテーブルレイアウトという2種類の使い方がある。

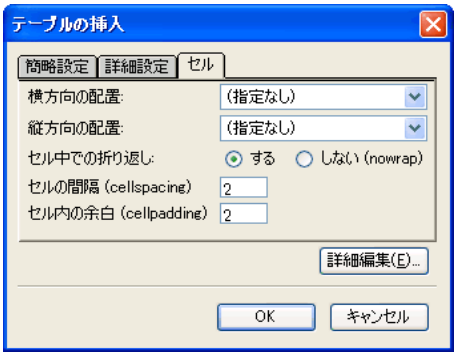


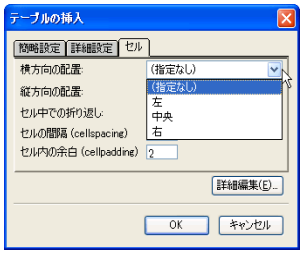
テーブル をクリックすると 簡略設定タブ が開く。
ここからマウスで１×１～６×６までの表が簡単に挿入できる。

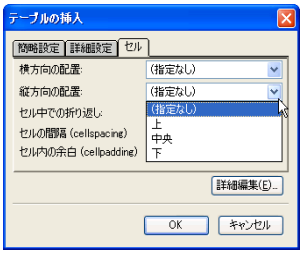
簡略設定が好ましくない場合でも、表の中で右クリックして表示される テーブルのプロパティ ［セル］または［テーブル］で詳細な設定ができる。

［詳細設定］タブ では好きなセル数で挿入できる。６×６では足りない場合にはこちらで挿入した方が早い。
また、テーブルの幅をウィンドウに対して何%にするか、具体的にピクセルで指定するかを選べる。
枠線の太さは最初は1ピクセル（表示の中で一番細い）になっているが、０にすると赤い破線で表が挿入され、ページをプレビューやブラウザで見ると、太さが０ピクセルなので、表が存在してても表の枠線・罫線は表示されない。
これがテーブルレイアウトなどに使えるので、上手く利用することで絶対にレイアウトが崩れない配置を行うことができる。表は表だけの使い方ではなく、このようにレイアウトでも使用できるのだ。



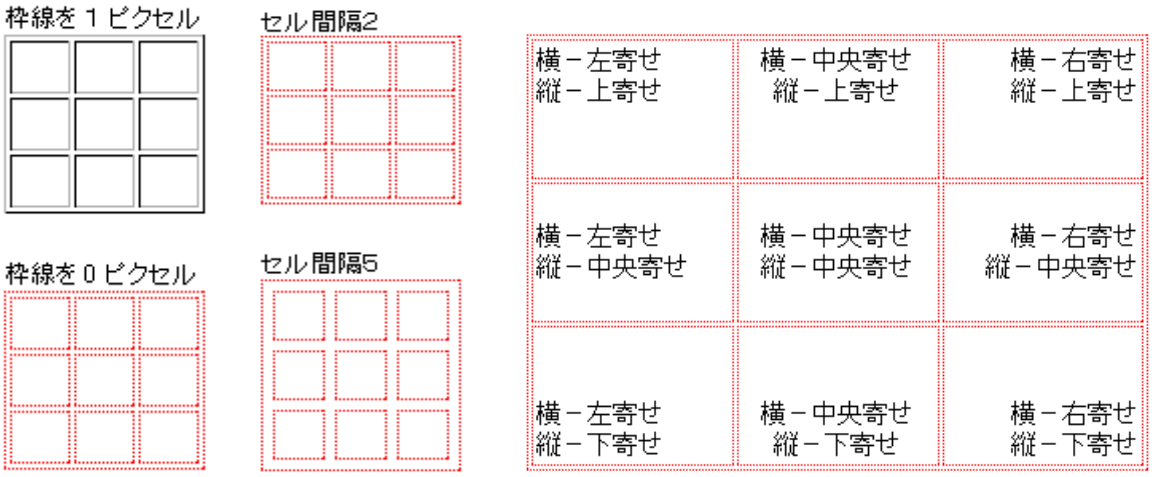






［セル］タブ については、セルの中のテキストや画像の配置とセルの内側の余白、セルとセルの余白を指定できる。

余白を多くすると、表の枠線を表示した時に、線よりテキストが遠ざかって読みやすくなる。 セルの間隔を空けるとセル同士の距離が空く。
また、セル内のテキストや画像の寄せを横方向と縦方向の2つで指定できる。指定なしだと、左寄せ（横）の中央寄せ（縦）になる。 参考までに表示や寄せについて以下にイメージを載せる。



テーブルのプロパティ は表の中で右クリックで テーブルのセルのプロパティ をクリックするか、セルの中でダブルクリックすると表示される詳細設定である。

テーブル（表）の中で「テーブルのセルのプロパティ」

セルの設定

選択　-- 前 -- 次 --　選択しているセルの移動

大きさ
　高さ　--　高さの％指定はできない。
　幅　--　数値　→　幅は％とピクセルのいづれか。
　　これは表の幅に対しての割合 (%) か幅 (ﾋﾟｸｾﾙ)

内容の配置
　垂直方向　--　上・中央・下　のいづれか
　水平方向　--　左・中央・右　のいづれか

セルの種類
　通常　--　何もしない
　見出し　--　何も起らない

背景色　--　セルを塗りつぶす背景色

テーブルの設定

大きさ
　行（横方向）のセルの数
　列（縦方向）のセルの数

　高さ　--　マウスで引っ張った方が早い
　幅　--　ページの幅に対しての割合またはサイズ

枠線・間隔・余白
　枠線　--　枠線の太さ
　セル間隔　--　セルとセルの間の隙間
　余白　--　セルの線の内側の余白

テーブルの配置
　左・中央・右　--　ページに対して表そのものの配置

テーブルの表題
　テーブルの上下左右いづれかに表題のを設ける
　なしにすると表のタイトルも無し。

背景色
　テーブルそのものの背景色

テーブル内での右クリック（よく使うものだけ）

テーブルを挿入
　テーブル　--　右クリックしたセルの中へ更に表を挿入する
　　行の上に　--　右クリックしたセルの上に1行増やす
　　行の下に　--　右クリックしたセルの下に1行増やす
　　列の前に　--　右クリックしたセルの左に1列増やす
　　列の次に　--　右クリックしたセルの右に1列増やす

テーブルを選択
　テーブル　--　テーブル全体を選択する
　　行　--　右クリックしたセルの行全体を選択
　　列　--　右クリックしたセルの列全体を選択
　　セル　--　右クリックしたセルだけを選択
　　全てのセル　--　全てのセルが選択される（テーブルの選択と同じ）

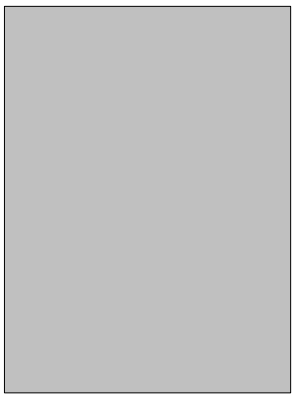
テーブルを削除
　テーブル　--　右クリックした位置のテーブルを削除
　行　--　右クリックしたセルの横一列（行）を削除
　列　--　右クリックしたセルの縦一列（列）を削除
　セル　--　右クリックしたセルが削除され表の中でセルが1個詰まる（表が崩れる）
　　セル内容　--　右クリックしたセルの中の文章や画像が消去できる

テーブルレイアウトについての補足

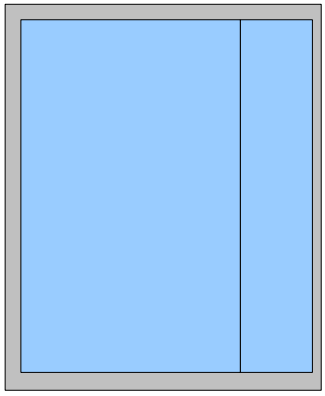
私のウェブサイトのトップページは、2列の表の中に、更に表を挿入して壁紙のサムネイルをレイアウトしている。これはテーブルレイアウトと呼ばれる技法。このレイアウトの利点は簡単で崩れず、殆どのブラウザや、思いっきり古いブラウザでも読めるということ。 難点はソースが肥大化しやすいことだけ。

例えば、普通にページに文字やリンクをつけても1ページには1列しか表示できない。 しかし、見えない表を挿入して、それでページを区切ればあたかもそれっぽいサイトが出来上がる。表のマス目（セル）は隣と簡単に結合できるので、面白いレイアウトもできる。ある一定の法則があるので、色々と試してみると良い。

例えば



表を配置して大まかに区切る

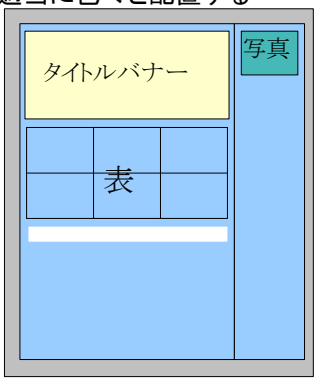


ページを縦に割ったり、横に割ったり、部分的に結合してみたりと配置を色々と弄りまくることも可能。

予め中に改行を入れておいて、好きなところに更に表を挿入してコマ割りなどもできるので、私のサイトのようなレイアウトも表だけを使って配置している。

あまり挿入するとページの容量が肥大化するので、できればトップページの容量はナローバンドでも20秒から1分くらいで表示が完了するようにしよう。

適当に色々と配置する



表の中に表を挿入したり画像を配置

テキストを中央配置して背景色を指定

あおもりくまの何にもね～よ！？

ページのソースをCSS にすると文字をセンタリングした時にページや表の中の横いっぱいに枠ができる。この枠に文字の背景色を指定することが出来るので、項目のタイトルとして利用できる。

この他に、文字にハイライト（マーカー）が使えるので、蛍光ペンで文字を塗ったような表示も可能。

CSS にはテーブルレイアウトの他に、オブジェクトをマウスで自由に配置するための機能が用意されている。 これはソースから細かな場所の補正ができない人にはオススしない。isweb や FC2 のようにページに強制的に広告が入るサーバーではレイアウトが崩れたり、広告が思わぬ所に入ってしまうので、広告の入らない有料サーバーを持っている人は使ってみると良いだろう。 マウスで大まかに配置した後で、ソースと睨めっこして微調整が必要だ。

Composer 系にページの編集画面を拡大表示して微調整できる機能があれば簡単に解決できると思うので、今後の発展に期待したい。

さて、今回のバージョンでは以上で操作説明は終了。次回の版では説明の画面などを挿入して分りやすいものにしたいが、「よーし、やってやろうじゃねーか！」というツワモノが居れば、OpenOffice.org のオリジナルファイル ODF を提供しても良い。

4. 同時に使うと便利なソフトウェア

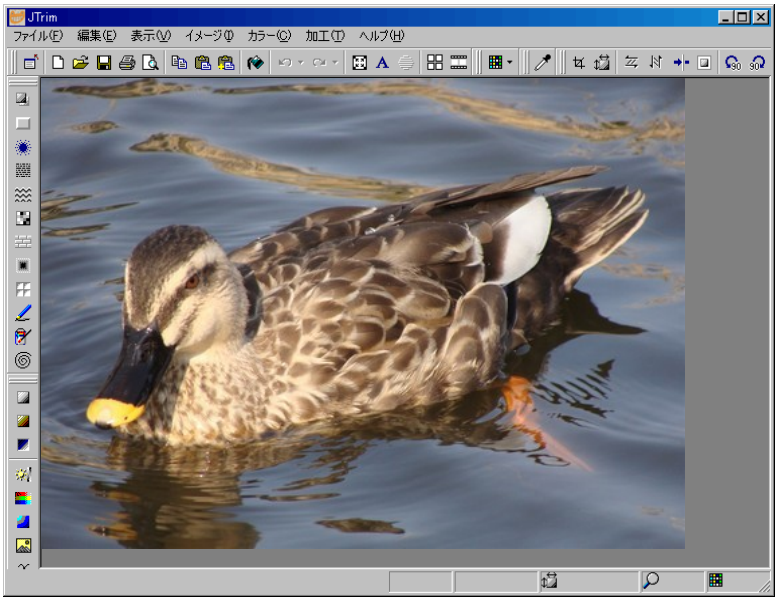
KompoZer はオーサリングソフトであって統合されたホームページ制作ソフトではない。ホームページビルダーや初心者向けの制作ソフトには素材のビューワーや色んな付加機能が山ほどついているオートマチック車のようなものだが、KompoZer はページを編集するだけのソフトウェアでマニュアル車である。　次の項目では、ウェブサイト制作に必要な基本的なソフトウェアを紹介する。

4－1. フォトレタッチソフト

フォトは写真。フォトレタッチとは写真を編集するためのソフトウェア。

- 大きな写真を実際に表示するサイズまで縮小・拡大するためのリサイズ。
- 写真の明暗や輝度を変更する明暗や輝度、ガンマ、RGB、色合いの補正。
- 写真を単色に変更するモノクローム、セピア。色反転のネガポジ。
- 写真に効果を与えるシャープ・ソフト・ポスタライス・エッジなど各種の特殊効果。
- 写真の 90 度回転機能や任意回転機能。
- 写真に文字を書き込む機能など、他多数のエフェクト群を装備。
- そして、単純明快なツール群と操作方法。

JTrim （フリーソフト）



簡単で軽快なフォトレタッチ

ツールボタンにマウスオンすると機能名が出るので分りやすい。Microsoft Office に付属している PhotoEditor のような手軽さと、それよりもちょっと多機能で便利なエフェクトなどが用意されている。

主に、[イメージ] から [リサイズ] や [切り取り] を。
[明るさ／コントラスト] や [ガンマ補正] で暗くなった写真を明るくしたり白っぽい写真の色を濃くしたり、ゲージや数字を調整するだけで簡単に補正できる。

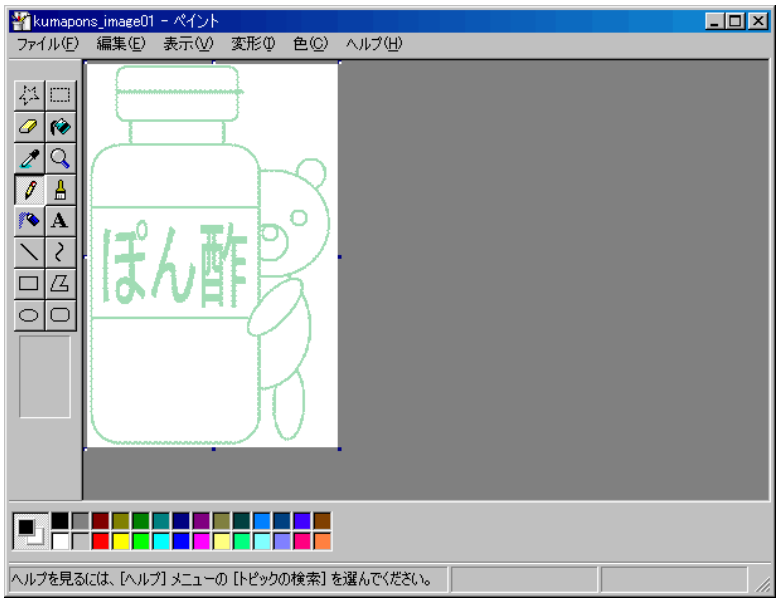
また、[加工] のメニューには多数のエフェクトが用意されているので、試してみよう。 取った写真を色々と風変わりに編集できる。

他には、[色解像度の変更] は凄く綺麗に減色してくれる機能だ。24 ビット色や 16 ビット色の画像を綺麗に 8 ビット色に減色してくれる。 この減色がなぜ重宝するのか。

それはこのマニュアルや私のサイトで使用しているスクリーンショットの 99 %が 8 ビット色だからだ。24 ビット色の画像と、8 ビット色の画像とでは、同じサイズの画像でもデータ量が違うので、8 ビット色の方が遥かに容量が小さいことが最大の理由。 見た目にあまり変わらないのであれば、説明書に使う画像は JPEG や PNG 、GIF などよりも、PDF にしたときに綺麗で表示の早い無圧縮の Bitmap Graphic が一番使い勝手が良い。 OpenOffice.org ではファイルの格納が ODF ファイルという圧縮ファイルなので、たとえ Bitmap を使っていても、保存された時に圧縮されて非常にコンパクトになる。いまこの時点で ODF で 496KB / PDF で 944KB 程度の容量だ。
JPEG でスクリーンショットを撮るとこの倍くらいになり、挿入すると画像が汚くなりそれ以上圧縮ができない。 PNG を使うと同じくらい容量がコンパクトになるが、ページのスクロールが非常にもたつく。見る人へのストレスを考えたら、ページのスクロールが早くて印刷も綺麗な方が良い。Bitmap はその点で秀逸である。
この手間は面倒なのだが、こういったマニュアルは情報量と低容量が求められる。この手のマニュアルを作り始めて6年目になるが、このマニュアルで7つ目だ。 スクリーンショットを多用するマニュアルを作るときと PDF 化する際は、文書ファイルに挿し込むスクリーンショットは「8ビットに減色したビットマップで作ろうよ」と長年提唱し続けている。 それまではみんな好きな画像形式を使っていたのだが、「でかい、重い、汚い」が普通だった。「小さい、速い、綺麗」という3つを満たせるのは Bitmap しか無い。この減色機能は便利。

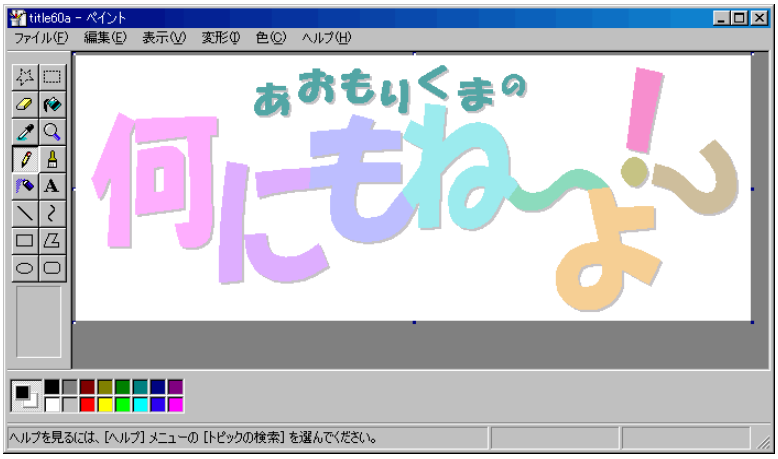
4－2. ペイントソフトとバナー

ペイントソフトはお絵描きソフトのこと。Windows なら Paint というものが最初から使えるようになっている。一時的に Print Screen キーでキャプチャした画像を貼り付けてトリミングするには軽くて機能が少なく操作が単純で非常にあり難い。



簡単な丸っこい四角や直線や丸などを組み合わせるだけで簡単にサクサクお絵描きできる点も好きだ。本当に機能が少ないのでかえって使いやすいのかも知れない。

バナーは Paint でも作れる。A のボタンで好きな文字を書いて、それを画像として保存すれば良いのだ。好きなフォントも絵として保存できるし、それらの配置も自由。



切り取りとマウスでの移動や塗りつぶし、虫眼鏡での拡大で補正もラクチン。

全体・部分の選択も簡単で、使い様によってはいろんなことができる。

まさに、使う人によってはとんでもなく強力なツールになる。 この Paint は色んなものを貼り付けて加工するのに適している。

他には Excel のワードアートを使ってデザインし、それを Paint に貼り付けてから JTrim で縮小したり減色したり、透明色を指定して透過 PNG を作ることもできる。

バナーの作成に Excel を使うとワードアートはマウスで簡単に位置を調整できるし、ワードアートはどんどん重ねられる。縦横の縮尺も自由自在だ。ワードアートの塗りつぶしには色々なグラデーションやテクスチャーも使え、影を付けたりもできる。

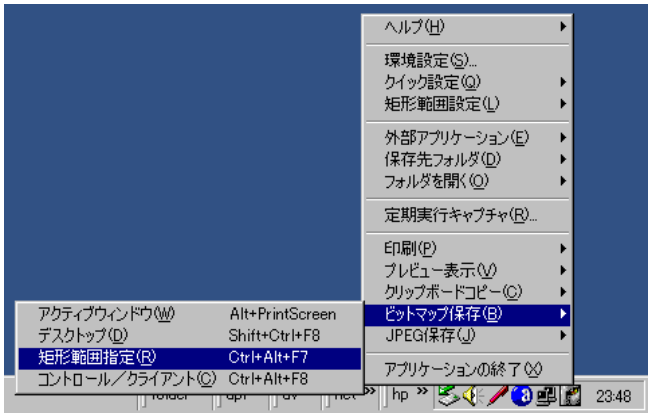
全部重ねて綺麗に出来上がったら、それをグループ化してコピーする。コピーしたら Paint を起動して、貼りつける。すると、Excel 上で綺麗に出来上がったバナーは Paint に表示される。あとはそれを Bitmap で保存して、JTrim で加工すれば良いのだ。

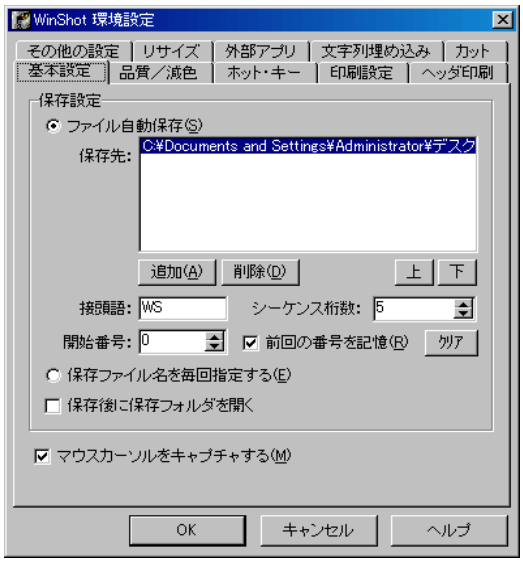
大抵の人が持っている Word や Excel も使い方によっては全然違うジャンルに利用できるのだ。生憎持っていないという人は、Microsoft Office の互換品、OpenOffice.org Ver3.0
をどうぞ。これは無料で入手できる統合オフィスソフトだ。

4－3. スクリーンキャプチャーソフト

スクリーンキャプチャーとは、パソコンの画面に表示されているデスクトップやウィンドウ、任意の画面の一部などを撮るソフトウェア。見たままのものを説明する時に、実際の画面のスクリーンショットを交えて説明した方がわかりやすいことから、HowTo やマニュアルなどのページで必須とされるソフトウェアである。

WinShot（フリーソフト）





最も高機能で扱いやすいスクリーンキャプチャー

これほど痒い所に手が届くスクリーンキャプチャーは他に知らない。おおよそ必要な機能は全て揃っているし、操作中のスクリーンショットを取る為の時間差キャプチャまで搭載している。更にはホットキーにより、マウス操作中の手順などをキーボードからプチプチプチと連続して撮影できる。

用語

アクティブウィンドウ
いま、一番手前に表示されているウィンドウをキャプチャする。

デスクトップ
パソコンの画面全体を丸ごと撮影する。

矩形範囲指定
マウスで好きな範囲を囲んでクリックするとキャプチャできる。

コントロール／クライアント
ウインドウの上をマウスでなぞると、その範囲が赤く囲まれる。
囲まれた範囲をキャプチャできる。タイトルバー、メニューバー、ツールバーや画面などを任意選択できる。

環境設定

時間差キャプチャの秒数を指定したり、同時に減色させるなどの各種機能が非常に細かく指定できる。保存先フォルダや保存するファイル名および、連番のケタ数なども指定できる。
JPEGで保存するときの品質や、ネガポジ反転、グレースケール、キャプチャと同時にリサイズするなど機能も多彩だ。

クリップボードは Windows の一次保管場所で、何かのグラフィックソフトに受け渡しできる。クリップボードでコピーしたものをPaint を起動して貼り付けもできる。 プレビューは保存しないでキャプチャしたものを見ることができる。それをPNG や GIF などでも保存することが可能。

4－4. FTPソフト

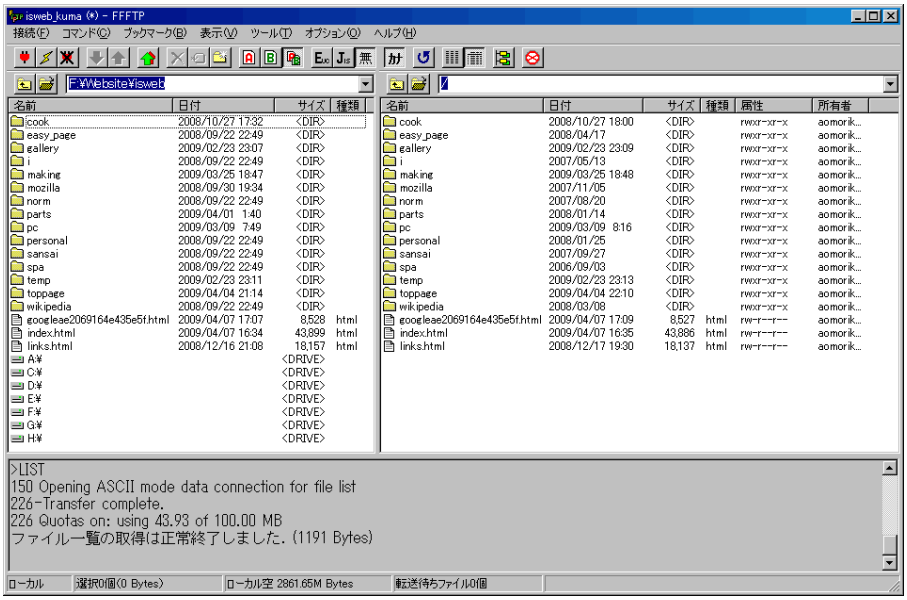
FTP ソフトは、ホームページ公開スペース（ISP）の FTP サーバーに制作したウェブサイトのデータを転送するための専用ソフトである。

ISP には、ブラウザからのアップロードが可能な HTTP のアップローダーもあるが、FTP クライアントは、Windows のエクスプローラーのようにファイルを選んでアップロードしたり、フォルダごとアップロードしたりできる非常に使い勝手が良いソフトである。

大抵は、画面の右側が自分のパソコンのフォルダ。左側がウェブサーバーのフォルダになる。右と左のフォルダの中身を同期させればウェブ上にあるウェブページは更新される。

FFFTP

（フリーソフト）



設定に必要なものは　ホスト名、ユーザー名、パスワードの3つ。

isweb の場合

ホスト名　ftp.isweb.infoseek.co.jp　←FTP サーバーのアドレス

ユーザー名　aomorikuma　←サブドメイン名がユザー名

FC2 の場合

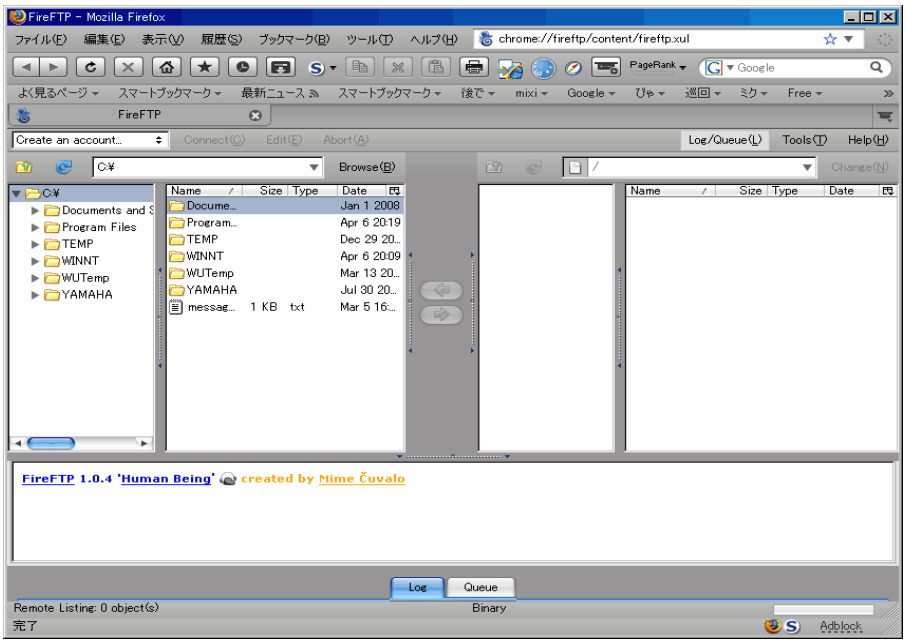
ホスト名　aomorikuma.web.fc2.com　←ドメイン名がアドレスになっている

ユーザー名 メールアドレスがユーザー名

ブラウザの Mozilla Firefox には add-on で FireFTP という拡張機能もあり、FFFTP に似た操作ができるうえ、FFFTP よりも進化している。階層化表示もできる非常に使い勝手が良い FTP クライアントがある。

Fire FTP

Firefox Add-on



5. 版のバージョンとクレジット

このマニュアルの作者と制作環境。改変の有無による配布条件や改変時の記載や連絡方法などは以下のとおりとなります。

このマニュアル配布条件

このマニュアルは基本的に KompoZer の性質に合わせ無償配布となります。印刷代や印刷物の発送に掛かる実費を含めることは許可いたします。それ以上の対価を得ることは禁止します。

当マニュアルをダウンロードしたもののコピー。CD-R や USB メモリなどに記録・保存。メールに添付しての改変を伴わない二次配布は自由とします。
当ウェブサイトのダウンロードページへの誘導については大量アクセスが予想される場合、貴ウェブサイトでの無改変版の二次配布は許可いたします。二次配布中は改訂版が出ていないか時々チェックしてください。

改変したものを再配布する際は、改変後に二次配布者のクレジットに自身のクレジットを記載し、当該ファイルのダウンロード URL を aomorikuma 宛てにメールで送信ください。改変版の三次配布以上は許可しません。ODF 文書が必要な方はメールで問い合わせください。
商用のメディアに収録する場合は作者の aomorikuma までメールまたはブログまで事前に連絡を取ってください。

このマニュアルの目的

このマニュアルを使用した KompoZer でのウェブサイト作成に関する講習、講座、課題の提出。個人・企業・団体・教育機関のウェブサイトの作成。

オリジナル版　一次配布者クレジット

制作・編集：あおもりくま（aomorikuma）
配布サイト名：あおもりくまの何にもね～よ！？　/　あおもりくま総合研究所
編集機材：DOS/V 互換機　Windows 2000/XP
編集ソフト：/ Winshot / Jtrim/ Microsoft Paint / OpenOffice.org Ver 3.0
連絡先：E-Mail：aomorikumax@gmail.com / ブログ　：あおもりくまの生態

改変版　二次配布者クレジット

制作・編集：
配布サイト名：
編集機材：
編集ソフト：
連絡先：E-Mail：　　/ ブログ　：

版のバージョン情報

配布年月日：
2009/03/26 – 04/08　はじめての KompoZer Ver.1.0 α　オリジナル：誤字脱字 未チェック版
2009/04/08　はじめての KompoZer Ver.1.0β　オリジナル：誤字脱字修正・文書更正1回目